

広島港湾空港技術調査事務所

お知らせ

記者発表資料 配布日時	令和3年5月7日 14:00
----------------	-------------------

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞社、日本海事新聞社、都市計画通信社

中国地方における波浪観測の現状と課題

～「^{まなびや}実りある学舎」聴講参加者の募集～

実りある学舎は、学識経験者や各分野のスペシャリストを講師に招き、最新の情報や気になる話題などをテーマとした情報収集・発信の場と位置付け、技術力の向上や今後の効率的な事業展開につながる場となるように、広島港湾空港技術調査事務所が定期的に開催している講演会です。

本年度1回目の「実りある学舎」は、早稲田大学非常勤講師（株式会社エコー 常任顧問）永井紀彦氏を講師にお迎えし、「中国地方における波浪観測の現状と課題」についてご講演いただきます。

下記要領により聴講参加者を募集しますのでご参加下さい。なお今回は、WEB配信による開催となります。

記

1. 日時 令和3年6月3日（木） 14:00～16:00
2. 配信方式 WEB講演会（Microsoft Teams）
3. 聴講申込み 広島技調HP「お問い合わせメール」にてお申し込み下さい。
（参加費無料）
※詳細は別紙「開催案内チラシ」をご参照下さい。
4. 取材申込み 講演会当日の取材をご希望の場合は、令和3年6月1日（火）15:00までに別添の取材申込書に必要事項をご記入の上、当事務所宛にFAXにて送信くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

TEL：（082）250-1902 FAX：（082）250-1905

広島技調HP：https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo

【担当】 調査課長 ^{くぼた こういちろう} 窪田 幸一郎
専門官 ^{まつばら たかお} 松原 孝雄

広島技調

検索



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

中国地方整備局

広島港湾空港技術調査事務所 調査課 宛て

F A X 0 8 2 - 2 5 0 - 1 9 0 5

令和3年度 第1回 実りある学舎 取材申込書

令和3年 5月 日

所 属 名	
氏 名	ふりがな
連 絡 先	T E L
	F A X
	メール

中国地方における 波浪観測の現状と課題

～WEB講演会～

令和3年

6月3日

木

14:00～16:00
(13:45接続開始)

参加費
無料

令和3年度
第1回

実りある学舎

講師

早稲田大学 非常勤講師
永井 紀彦 氏
(株式会社エコー 常任顧問)

配信
方式

WEB会議システム「Microsoft Teams」
5月27日 14:00～16:00の間で接続テストを行う予定です。(任意)

主催

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

共催

公益社団法人 土木学会中国支部
土木学会継続教育(CPD)プログラム認定番号：JSCE21-0451〔1.9単位〕
※土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。
※CPDSプログラムにも認定されています。登録番号：640026〔2ユニット〕
本講演会はCPDSの学習履歴申請を主催者が行います。



お申込み方法

メールまたは右のQRコードにて、必要事項をご記入の上お申し込みください。
(電話・FAXでの申し込みはできません)

E-mail : pa.cgr-info-hg87s3@mlit.go.jp



【必要事項】①氏名 ②所属 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥プログラム申請希望の有無 (CPD/CPDS) ⑦接続テスト参加希望の有無

※個人情報、本講演会の開催目的以外には使用しません。

※申込締切後の申し込みは、原則受付できませんのでご注意ください。

申込〆切：5月21日(金)

【お問い合わせ先】 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F
TEL：082-250-1902 <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo/>

広島技調

検索

令和3年度 第1回

実りある学舎

実りある学舎とは

最新技術に関する情報収集や発信の場として、また学識経験者や各分野のスペシャリストから知識を学び取り技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として、「実りある学舎」という講演会を毎年開催しています。

参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

講演概要

中国地方は、瀬戸内海側と日本海側とで、自然条件、社会・経済条件が大きく異なります。瀬戸内海側は、比較的静穏な海域であることから、化学・鉄鋼など多くの企業立地により我が国有数のコンビナートを形成しています。また、瀬戸内海には、100余りの有人島があるので、海上交通が生活航路として重要な役割を果たしています。他方、瀬戸内海沿岸は、台風による高潮・高波による被災を受けることもあります。日本海側は、日本海特有の冬季風浪が厳しいため、やはり災害に強い社会基盤施設の整備が求められています。

中国地方整備局では、鳥取港などで波浪観測等を行っており、港湾施設等の設計・施工の高度化に活用しております。近年は、地球温暖化等により巨大な台風が来襲するなど、これまでに経験していない異常な気象・海象現象の発生が見られます。同時に、南海トラフの巨大地震による津波対策も重要な課題となっております。

本講演では、早稲田大学 非常勤講師（株式会社エコー 常任顧問）永井紀彦氏を講師にお迎えし、長年にわたる全国港湾海洋波浪情報網（ナウファス）の開発・改良・運用に取り組んで来られたご経験をもとに、気象変動に伴う波浪変化、最新の波浪観測技術、瀬戸内海や日本海の沿岸における波浪観測の現状と課題について、ご説明いただきます。

【講演会開催にあたっての留意点】

- ・講演中は、カメラ・マイクをオフにしてください。
- ・広島港湾・空港整備事務所の会議室（庁舎5F）から配信しますが、会議室での聴講をご希望の方は、事前にご連絡くださいますようお願いいたします。ただし、人数には限りがあるため、ご希望に添えない場合もあります。
- ・CPD及びCPDSをご希望の方は、受講後に講演会に関する感想をアンケート用紙※に100文字以上ご記入いただき、ご提出ください。CPD申請希望者には受領後、受講証明書を送付いたします。

※アンケート用紙は、参加者宛に後日送付いたします。